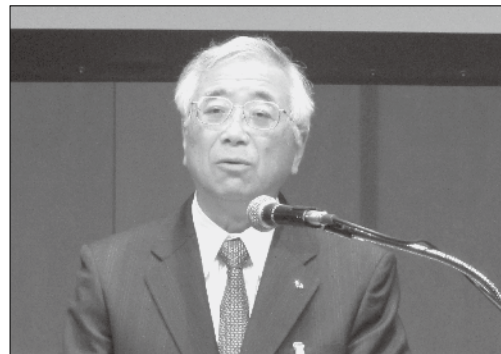


# 日本経済の発展に貢献する 車体工業会を目指して

水嶋 敏夫

(トヨタ車体㈱取締役会長)



皆様のご推挙により車体工業会の会長を務めることになりました水嶋でございます。62年という諸先輩が築かれた歴史をもった偉大なる車体工業会の会長ということで、私には大変荷が重い役目ですが、副会長の皆様、部会長の皆様、支部長の皆様をはじめ、会員の皆様全員のご支援、ご協力をいただきながら、精一杯運営していきたいと思っております。

高木前会長におかれましては、強い指導力と先見性をもって車体工業会を牽引いただき、先程の事業報告にもありました様に、多くの成果をあげられました。深く感謝申し上げますと共に、今後とも、新しい立場でのご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

先ほどの事業計画にもありましたように、上期はサプライチェーンの分断による供給面が課題として残っておりますが、我々の製造している「働くクルマ」は復興には不可欠な車両であります。

下期は、上期の反動や膨大な公共投資に伴い、需要は大きく回復するものと考えられます。私ども車体工業会がすべき最大の復興支援は、早く製造、供給体制を整え、お客様にお届けすることと思っております。

この面で、会員各社様のご努力をお願いいたしますとともに、車体工業会全体として、対応すべきことがあれば対応していきたいと考えております

何れにしましても当面は厳しい状況が続きますが、先ほどの審議いただきました事業計画では膨大な、多岐に渡る計画がでております。

まずは、これらを着実に実行し成果に結び付けることが必要であり、そのためには皆様方のご協力が不可欠であります。

皆様の一層のご指導、ご協力をお願い申し上げまして、会長就任の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

